

平成 30 年第 1 回（2 月）瀬戸内市議会定例会一般質問通告一覧表

代表質問

発言 順序	会 派 氏 名	質問方 法	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答弁を 求める者
1	鼎の会 布野浩子	一問一 答	1. 市民協働によるまちづく りについて	(1) 市民参画の仕組みづくりの状況は (2) 協働提案事業制度の今後の方針は (3) 職員の意識改革の状況は (4) 新しい分野にも協働を取り入れてはどうか。また、企業も 協働の対象とするなど、柔軟に制度の改善を検討しては	市 長 副 市 長 教 育 長 担当部長
			2. 新学習指導要領の「社会 に開かれた教育課程」へ の取り組みについて	(1) 進捗状況は (2) いろいろな団体との協働が欠かせないが、どのように仕組み をつくっていくのか (3) コミュニティスクールの今後の計画は	市 長 副 市 長 教 育 長 担当部長
2	改革 廣田 均	一問一 答	1. 財政の健全化について	(1) 厳しい財政運営が続いているが、市長としての健全化に対 する評価と今後の取り組みは	市 長
			2. 平成 30 年度当初予算に ついて	(1) 各部局において、まちづくりの重点をどのように考えて取 り組むのか (2) 次の事業の具体的な取組内容は ① 要保護児童対策事業 ② 学童保育支援事業 ③ 病児・病後児保育事業	市 長 副 市 長 教 育 長 病院事業管理者 担当部長

発言 順序	会 氏 派 名	質問方 法	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
2	改革 廣田 均	一 問 一 答	3. JR 駅前等の整備について	(1) 市内3駅のトイレ、駅前広場等の整備をどうするのか	市 長 副 市 長 担当部長
			4. 通学時の安全対策について	(1) 赤磐市で起きたいたましい交通事故を教訓として今後の安全対策にどう取り組むのか	市 長 教 育 長 担当部長
			5. 農業・漁業の振興について	(1) 高齢化が進み、後継者が不足する現状をどう把握しているのか。また、その解決策は	市 長 副 市 長 担当部長
			6. 企業誘致について	(1) 今後の展望は	担当部長
			7. CO2の排出削減について	(1) CO2の排出削減日本一を目指す取り組みを実施しては	市 長 副 市 長
3	創流クラ ブ 竹原 幹	一 問 一 答	1. 市の財政運営について	(1) 基金の運用状況と適正規模は (2) 合併特例債の発行期限の再延長により活用計画をどう見直すのか	市 長 副 市 長 担当部長
			2. 公共施設の再編について	(1) 庁舎の再編計画は (2) コミュニティ施設などの方針は	市 長 副 市 長 教 育 長 担当部長
			3. 地域自治組織と地域一括 交付金制度について	(1) 平成31年度からモデル地区の立ち上げを想定しているとのことだが、今後どう取り組むのか (2) 本市に適した制度とはどのようなものなのか	市 長 副 市 長 担当部長
			4. 図書館相互利用事業について	(1) 参加に向けた検討状況は	市 長 教 育 長 担当部長

発言 順序	会 氏 派 名	質問方 法	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
			5. J R長船駅の整備について	(1) 駅構内のバリアフリー化を最優先に行うべきではないか	市 長 副 市 長 担当部長
4	瀬戸内 市民の会 小野田光	一 問 一 答	1. 合併特例債の活用について	(1) 新聞報道等で、合併特例債の発行期限が5年間延長される見込みとのことである。本市の合併特例債の借入限度額と既借入額は。また、今後の借入予定事業は	市 長 担当部長
			2. 基金の運用について	(1) 今議会に提出された一般会計補正予算の歳入において、利子及び配当金が7,491万円減額され、補正後の予算額は2,556万5,000円となっているが、基金運用はどのように行っているのか	市 長 担当部長
5	公明党 瀬戸内 市議団 高間直美	一 問 一 答	1. SDGsの推進について	(1) SDGsを推進していく考えは (2) 体制づくりはどうするのか	市 長 教 育 長 担当部長
			2. 市の行政組織のあり方について	(1) 職員の育成方針をどのように考えているのか (2) 行政課題に対応するために部局間においてどのように連携していくのか	市 長 教 育 長 担当部長
			3. 情報発信等のあり方について	(1) 市からの情報発信等をどのように考えていくのか (2) 市政情報だけでなく市全体の情報を発信していく考えは (3) 市民と市民をつなぐツールの検討は	市 長 担当部長

発言 順序	会 氏 派 名	質問方 法	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
6	日本 共産党 瀬戸内 市議団 厚東晃央	一括質 問一括 答弁	1. 市政の方針について	(1) 平成30年度はハード事業に手厚い予算編成になっている。市民の生活を考えると、社会保障の充実など市民の生活面での負担を軽減する政策が必要と考えるが、見解は	市 長
			2. 市民の生活を支える公共交通政策について	(1) 市内の一部のバス路線の廃止が申請された。市は存続を求める要望を提出したが、今後の対策は (2) バス路線が廃止された場合の対策は (3) 市営バスとタクシーチケットの利用状況は。また、利用促進のための改善策は (4) 公共交通を専門とする部署を設置すべきでは	市 長 副 市 長
			3. 高齢者の生活を支える政策について	(1) 市民の暮らしを支えるためには、介護保険料の値上げをするべきではないが、見解は (2) 要介護認定や障害者手帳の交付を受けている高齢者について、ひとり暮らしや高齢者のみの世帯への個別ごみ収集を実施しては	市 長
			4. 子育てを支える政策について	(1) 子どもの貧困や子育て世代の実態の把握のためのアンケートの結果を今後どのように反映させていくのか (2) これまで提案してきた負担軽減策の研究・検討状況は ① 保育園・幼稚園保育料の無料化・軽減策 ② 子ども医療費無料制度の対象を高校卒業時まで拡大 ③ 学校給食費の無料化・軽減策 ④ 予防接種への補助の拡充 ⑤ 就学援助の充実 ⑥ 無利子奨学金制度の創設 ⑦ 出産祝い金・出産費用補助制度の充実 (3) 放課後児童クラブ（学童保育）は市の直営で行うべきと考えるが、指定管理者制度の導入を決定した経緯と理由は	市 長 教 育 長

発言 順序	会 氏	派 名	質問方 法	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答弁を 求める者
				5. ごみ行政について	(1) ごみ 30%削減を平成 22 年度から 3 年間で達成する目標を掲げたが、達成できずに 8 年目を迎えて、いまだに 10%台で推移している。目標達成までの計画と具体策は (2) クリーンセンターかもめのごみ焼却業務の一部を民間委託しているが、市の直営で行うべきではないか	市 長

個人質問

発言 順序	議席番号 氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答弁を 求める者
7	1 番 岡國太郎	1. LGBT（性的マイノリティー）に対する配慮について	(1) LGBT（性的マイノリティー）の人々に対する本市の取り組みの現状は (2) 学校における教職員や児童生徒に対する研修状況は (3) 学校や公共トイレに、性別に関係なく利用できるトイレを設置すべきと考えるが、市の方針は	市 長 教 育 長 担当部長
		2. 再犯防止等の推進に関する法律に対する本市の対応について	(1) 更生保護サポートセンターを設置しては (2) 犯罪更生者を雇用する「協力雇用者」に対し、公共工事の入札等に際しての何らかのアドバンテージ（優位性）を設けるなどしては	市 長 副 市 長 担当部長
		3. 市のホームページについて	(1) 現在の市のホームページに対しては、市民からも非常に使いにくいとの声が高い。シティプロモーションの見地からも至急に見直しをして、使いやすいものにすべきではないか	市 長
		4. 牛窓（関町）バス停等の整備について	(1) 来年度に計画されている牛窓（関町）バス停整備については、周辺の状況把握、住民の声を聴くなどして効果的なものにすべきでは (2) 牛窓（関町）バス停整備と同時に、バス停付近に安全で効率的な駐車スペースを確保するなど周辺整備をしては	市 長 担当部長

発言 順序	議席番号 氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答弁を 求める者
8	14 番 馬場政教	1. 水防法等の一部改正への対応 について	(1) 要配慮者利用施設における避難確保計画の作成について、市はどのような支援を行っているのか (2) 避難確保計画を作成していない場合、必要性をどのように説明し、作成を促しているのか。また、理由なく指示に従わない場合その旨を公表するのか (3) 要配慮者利用施設は浸水地域や土砂災害警戒区域の実情に応じた避難訓練が重要だが、どのように支援していくのか	市 長 副 市 長 担当部長
		2. 介護予防・日常生活支援総合 事業への移行について	(1) 介護予防・日常生活支援総合事業制度の開始に伴い、今まで受けていたサービスを受けられない方がいると聞かすが、その把握と対策ができているか (2) 事業実施をどのような基準でどう評価しているのか (3) 各地区で健康体操を行っているが、安全・安心な自主活動とするための保険制度や指導者講習など実施体制の整備が必要では	市 長 副 市 長 担当部長
		3. 地域力の向上と地域の発展に ついて	(1) 瀬戸内 Kirei 太陽光発電所の発電設備整備が完了するが、これを今後どのように地域力の向上や地域の発展に生かすのか (2) 地場産業のより一層の発展に寄与するために、商品の購入や入札制度等を見直すべきでは	市 長 副 市 長 担当部長
		4. 住宅宿泊事業について	(1) 住宅宿泊事業について、平成 29 年 9 月議会で今後の検討課題とされたが、今後どうするのか	市 長 副 市 長 担当部長

発言 順序	議席番号 氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
9	4 番 日下俊子	1. 公共交通の整備について	(1) 市営バスの利用実績は (2) 市営バスに関するアンケート調査の結果は (3) 市営バスの今後の計画は (4) 市営バス利用者の増に向けての対策は (5) 両備ホールディングスのバス路線廃止に対する対応は	市 長 副 市 長 担当部長
		2. 有害鳥獣対策について	(1) 平成 29 年度の猟期と猟期以外それぞれのイノシシ、鹿の捕獲頭数は (2) 平成 30 年度のイノシシ、鹿の捕獲目標数は。また、1 頭当たりの補助金額は (3) 平成 30 年度の集落柵と防護柵の設置見込み数は。また、それぞれの補助金額は (4) 今後の被害防止対策はどうするのか (5) 捕獲に力を入れるからには、捕獲有害鳥獣の処理にも責任を持つべきでは	市 長 担当部長
10	10 番 島津幸枝	1. 国民健康保険について	(1) 国民健康保険税率等の改定が検討されているが、市民の負担は どうなるのか (2) 国民健康保険特別会計の財政調整基金の活用により市民の保険 税納付の負担軽減が図れるが、見解は (3) 所得階層別の被保険者の割合をどう考えているのか (4) 国に対して国庫負担の増額を要望する考えは	市 長
		2. 働きながらも安心して子育てできる環境の整備について	(1) 長期休業期間中のみ利用はできない放課後児童クラブがある が、その期間中の児童の居場所をどのように整備していくのか (2) インフルエンザなどで学級閉鎖となったときに、り患していない 児童は通える場所がない。場所の確保と支援の考えは (3) ファミリーサポートセンター制度の普及に向けた取り組みは。 また、使いやすい制度に改善すべきでは (4) 市民病院での病児・病後児保育はいつ実施するのか (5) 学校までの距離が遠く、公共交通の運行がない地域から通学する 児童・生徒の交通手段をどう確保するのか	市 長 教 育 長 病 院 事 業 管 理 者 担 当 部 長

発言 順序	議席番号 氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答弁を 求める者
11	7 番 河本裕志	1. 窓口業務の効率化について	(1) 国では、市町村の窓口業務の効率化と市民サービスの向上を目指して「業務改革モデルプロジェクト」に取り組んでおり、その成果を全国展開していくようであるが、本市の窓口業務の効率化について考えを問う ① 外部委託による窓口業務の効率化を考えては ② 連携中枢都市圏の圏域自治体で地方独立行政法人を設立し、業務委託する考えは ③ A I を活用して窓口業務の省力化を考えては	市 長 担当部長
		2. 行政サービスを受けるための支援について	(1) 手助けがないと行政サービスを受けられない高齢者などへの支援について問う ① 各種サービス等の情報を得るための支援策は ② 申請等の手続きをする際の支援策は	市 長 担当部長
12	17 番 日下敏久	1. 公共施設等適正管理推進事業について	(1) インフラ長寿命化基本計画と公共施設等総合管理計画の策定状況は (2) 個別施設計画の策定状況は	市 長 副 市 長 教 育 長 担当部長
		2. 企業誘致について	(1) 豆田工業団地の進ちょく状況と今後の考えは (2) 農村地域への産業の導入の促進等に関する法律による産業導入地区を早急に指定しては	市 長 副 市 長 担当部長
		3. 安全・安心なまちづくりについて	(1) 全国で通学中の事故が多発しているが、通学路及び生活道路の総点検の実施状況は (2) J R 大富駅周辺の通学路である市道の時速 30 キロメートル規制の要望について、その後の状況は (3) 牛窓北、牛窓南のバス路線廃止の報道等がなされたが、交通弱者や買い物弱者の方のために市内全体での地域公共交通網整備を考えるべきでは	市 長 副 市 長 教 育 長 担当部長

発言 順序	議席番号 氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
13	2 番 角口隼一	1. 防災・減災について	(1) 市民が避難勧告等を知る方法の調査状況は (2) 市内一斉避難訓練等の検討は	市 長 担当部長
		2. 職員の市内居住の推進について	(1) 職員の市内居住を推進する方策の検討は	副 市 長 担当部長
		3. 市道南北線の延長について	(1) 市道南北線の今後の考えは	市 長 副 市 長
		4. 計画的なまちづくりについて	(1) 現在の市内中心部の状況をどう認識しているのか	市 長 副 市 長 担当部長
		5. 持続可能なまちづくりのための 里山整備について	(1) 森林や山が富を生み出すような方策の検討は	市 長 副 市 長 担当部長
14	18 番 室崎陸海	1. 弁護士への相談について	(1) 平成 29 年度中に市が弁護士へ相談した件数、その委託料と訴訟等の件数は (2) 市民からの疑義を招かないようにどう対応していくのか	市 長 副 市 長 教 育 長 病院事業管理者 担当部長
		2. 職場環境の改善について	(1) 喫煙者と非喫煙者とで不公平感のない労働環境を整えるべきでは (2) 各部署の残業時間の格差を是正すべきでは (3) メンタルヘルス対策は充実しているのか (4) 再任用職員の雇用をふやしては (5) 適材適所の人材配置をどのように考えているのか	市 長 副 市 長 教 育 長 病院事業管理者 担当部長

発言 順序	議席番号 氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
15	9 番 平原順二	1. 公共施設の再編について	(1) 長船町公民館はどうするのか (2) 消防署長船分駐所はどうするのか (3) 長船支所はどうするのか	市 長 副 市 長 教 育 長 担 当 部 長
		2. 市有財産について	(1) 市内に利用していない土地、建物がたくさんあるが、今後をどのように考えているのか	市 長 副 市 長 担 当 部 長